

日本職業リハビリテーション学会

第37回（近畿）大会

開催要綱

テーマ：「今一度、雇用・就業にこだわる」

会期：2009年8月20日（木）～21日（金）

会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館
神戸市中央区港島1-1-3

アクセス：JR三宮駅および神戸空港より神戸新交通ポートライナー「市民病院前」駅下車西へ徒歩約6分（新神戸駅からは市営地下鉄で三宮へお越し下さい。市民病院前駅までは新神戸からは約11分、三ノ宮から約9分

第37回大会は2009年8月20日（木）～21日（金）の日程で、神戸港と市街を見渡すポートアイランド西岸にある神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで開催します。

障害のある人の権利に関する条約第27条「仕事と雇用」で「障害のある人にとって、開かれた、インクルーシブで、かつ、アクセシブルな労働市場及び労働環境」や「職場において障害のある人に対して合理的配慮の確保」などを示したように、また、我が国においても障害者自立支援法の象徴的事業である就労移行支援事業の誕生など、職業リハビリテーションは今、再び雇用・就業に焦点があたっています。このような潮流に立脚し、本大会では、「今一度、雇用・就業にこだわる」を基本テーマに、基調講演をNPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク理事長でくすの木クリニック開業医田川精二医師が行います。多くの精神障害のある方が仕事をしたい希望を持ちながらも訓練施設とつながっておらず、就職がすすまない現状の解決に向け、大阪の精神科診療所の精神科医有志が精神障害のある方の就労支援を行うNPO法人を設立し、2007年6月1日に就労移行支援事業所を開所したのです。この全国でも極めて希な実践を通して、職業リハビリテーションのありべき姿をパネルディスカッションし参加者一同で活発な意見交換をしていきます。

さらに、分科会には、すべて企業の方にもスピーカーとして参加していただき、課題ごとに大会テーマを掘り下げていく構成になっています。このような雇用・就業という極めて実践的なテーマと学会というアカデミックな活動との融合こそが職業リハビリテーション固有の領域であり、今後の発展の基礎であるとの思いから大会準備を進めています。

勿論、メインは会員の皆様からの研究発表をいただく場です。みなさまの研究や実践の成果をぜひご発表下さい。多くの演題を募集いたします。

37回大会長 黒田 大治郎（神戸学院大学）

《開催スケジュール》

月 日	時 刻	内 容
8月20日 (木)	09:30~10:00	研修基礎講座受付
	10:00~12:00	研 修 基 礎 講 座
	12:00~13:00	大会受付&昼食
	13:00~13:10	開 会 式
	13:10~14:10	基 調 講 演 NPO大阪精神障害者雇用支援ネットワーク理事長 田川精二氏
	14:20~16:20	パネルディスカッション 基調講演を受け、雇用・就業をあらためて問う
	16:30~17:30	会 員 総 会
	18:00~20:00	懇 親 会
8月21日 (金)	09:00~09:30	受 付
	09:30~12:00	口頭発表 ポスター発表 A 10:00~11:00 B 11:00~12:00
	12:30~13:50	昼 食
	13:00~15:00	分 科 会 1. 企業ネットワーク 2. 発達障害のある人の雇用・就業支援 3. 教育機関と企業との連携 4. 自主ワークショップ
	16:00~16:15	閉会式(大会発表奨励賞授与)

* 各プログラムの時刻は、研究発表申込状況等により多少変更となる場合があります。

《研修基礎講座のご案内》

大会初日、8月20日（木）の午前に学会研修委員会の主催で研修講座が開催されます。講座内容は次回通信発送時にお知らせしますので受講希望者は申し込んで下さい。

《大会企画内容のご案内》

1. 基調講演

「精神障害のある方への総合的支援として雇用・就業にこだわる」（仮）

講師 NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク（J S N）理事長 田川 精二氏

精神障害のある方への就労支援においてキーマンである医師がまだまだ消極的な状況下で、J S Nの実践は本人にはリハビリテーション・リカヴァリーを、医療には「状態を悪くさせない医療から本人の人生を応援する医療」へ、福祉には「障害者としての安定への支援から一人の人間としての人生に目を向ける」支援へ転換していく牽引力になっています。ここに職業リハビリテーションが目指すべき地平があるのではという思いから、診療の合間をぬって講演していただきます。

2. パネルディスカッション

かつての職業リハの研修会では、障害特性理解とそれに応じた支援技法の習得が中心でありました。それが、ジョブコーチ研修にみられるように、企業との関係性を重視する実践的な内容に変化しています。しかし、実践的スキルを高めることを前面に押し出すため、ベースにならなければならない思想が抜け落ちていっているのではという危惧を感じることもあります。「何故、働くのか、障害のある人が企業で働くことを支援するのか」このことを明確にもった支援者の主体性をどう育成するのかが問われていると言ってもいいでしょう。基調講演を受け「雇用・就業」をあらためて議論します。

司会進行 黒田大治郎氏（神戸学院大学）・古川直樹氏（兵庫県立総合リハビリテーションセンター）

パネリスト 基調講演者

パネリスト 雇用主

パネリスト 支援者

パネリスト 研究者

2. 分科会

①「企業ネットワーク」

職業リハビリテーションの主要なアクターの一つに企業があります。かつて支援者たちは、目に見えない雇用可能ラインを設定してそれをクリアした人を企業に送り込み、それで役割を終え、受け継いだ企業の永いご苦勞が始まるという連携とはほど遠い関係性がありました。このような課題を克服し障害者雇用の促進及び雇用継続を図るため、企業が主体となって、相互援助ネットワークを構築している例もみられます。このような実践の中から、企業と支援者の連携到達地平と課題を学び合います。

②「発達障害のある方の雇用・就業支援」

企業の社会的責任に対する意識の高まりや就業支援における法整備が進み、企業での障害者雇用の実践は着実に進んでいます。しかし、一方で発達障害のある方については、障害者雇用制度の対象とされない場合も多く、就業支援の実践も手探りの状況ではないでしょうか。そうした中、現に発達障害のある方を雇用している企業の実践をもとに、当事者や支援者の意見を交えながら、発達障害のある方の支援について学び合います。

③「教育機関と企業との連携」

障害者自立支援法の議論の中で学校卒業時に可能な限り就職をという厚生労働省の見解が示されていました。各教育委員会も特別支援学校生との就職を促進するために後期中等教育課程の再編を進めています。また、労働と教育の連携を強化する改正連携通達が大されるなど、学校だけに止まらないさまざまな動きが活発に行われています。しかし、企業側と特別支援学校関係者のニーズや思いがまだまだ一致しているとは言えない状況もあります。進路指導担当者と教育委員会、企業にお集まりいただき生徒への就労支援と企業側のニーズを一致させる展望を学び合います。

④ 自主ワークショップ

会員から募ったテーマで開催します。

《研究・実践発表の募集》

1. 研究・実践発表者の資格および発表内容

- ①筆頭発表者及び連名発表者は、2009年5月29日現在で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。正会員で2009年度年会費未納の方は2009年5月29日までに納入を完了してください（会費未納の場合は大会での発表資格を失う可能性が生じます）。正会員でない方の場合、学会ホームページから入会申し込みの手続きができます。
- ②筆頭発表者は、研究発表申し込みを2009年5月29日までに行ってください（詳しくは後述）。
- ③発表内容は、職業リハビリテーションに関する未発表のものとし、また、発表当日に35歳以下の発表者は日本職業リハビリテーション学会大会奨励賞の対象とします。

2. 留意事項

- ①研究・実践発表は1人1題に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ②同一グループによる連続発表は3題までとします。発表論文集原稿を送付する場合は一括してください。

- ③発表形式は口頭発表とポスター発表の2形式があります。ご希望の形式で申し込みをいただきますが、事情により、変更をお願いする場合がありますのでご了解をお願いいたします。

【口頭発表】

- ①発表時間は1題につき20分間です。15分間で発表を行い、残りの5分間は質疑・応答にあてられます。ただし、進行については座長に一任されます。
- ②使用できる機材はPCプロジェクターです。ビデオ、その他の必要がある場合は、発表論文集原稿の提出時（詳しくは後述）に、大会実行委員会事務局にご相談ください。

【ポスター発表】

- ①所定の時間中にポスターを掲示し、かつ大会プログラムで指定された在席時間に質疑・討論に応じることで発表と認められます。在席時間に不在又は質疑・討論に応じない場合は発表取り消しとなります。
- ②会場にポスター掲示用ボードを用意します。そのボードに持参したポスターを各発表者が掲示し、時間が来たら撤去してください。掲示のための画鋏、セロハンテープは会場に用意します。

3. 発表申し込み方法

- ①申し込み期間：2009年5月29日まで（必着）
- ②申し込み手続：筆頭発表者は学会ホームページから大会発表申し込み様式をダウンロードし、必要事項を入力してメールに添付して送付するか、同封の発表申し込み様式に必要事項を記入してFAXもしくは郵送でお送りください。

○発表者：氏名・所属

○発表演題・分類番号：以下の演題・分類番号からお選び下さい。

- 1：身体障害者
- 2：精神障害者
- 3：知的障害者
- 4：高次脳機能障害者
- 5：発達障害者
- 6：その他の障害者
- 7：障害種別なし

★ メール送付先：noukai@nifty.com

★ FAX送付先：078-925-9223 大会実行委員会事務局長 古川直樹宛て

★ 郵送先：〒651-2181 神戸市西区曙町1070 兵庫県立総合リハビリテーションセンター能力開発施設内

日本職業リハビリテーション学会第37回大会実行委員会事務局

- ③発表論文集原稿の送付期限は2009年7月22日（火）必着です。
- ④発表論文集原稿の作成は同封の「発表原稿作成要領」に従って作成してください。原稿はA4版2頁とし、Word(Windows)か一太郎で作成してください。原稿は電子メールで送信願います。メール送信が困難な場合は電子データ（フロッピーディスク、C

D、USB)を郵送して下さい。(電子データは後日返却します。)
なお、メールアドレス、郵送先はいずれも上記と同じです。

《自主ワークショップの募集》

大会企画分科会と並行して、自主ワークショップを一つに限って実施しますので、募集いたします。

1. 資格

- ①自主ワークショップの企画者・司会者は、2009年5月29日現在で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。話題提供者等は非会員であっても差し支えありません。
- ②自主ワークショップの企画者は、自主ワークショップの申し込みを **2009年5月29日**までに行ってください(詳しくは後述)。
- ③自主ワークショップの企画者・司会者及び話題提供者等となる会員は2009年度年会費の納入を2009年5月29日までに完了しておいてください(会費未納の場合は大会での開催資格を失う可能性が生じます)

2. 形式

- ①時間は全体で2時間ですが、運営は企画者に一任されます。
- ②使用できる機器は、PCプロジェクターですが、ビデオ、OHP、その他の必要がある場合は、発表論文集原稿の提出時(詳しくは後述)に、大会実行委員会事務局にご相談ください。

3. 留意事項

- ①複数の課題別ワークショップ、自主ワークショップに重複して関与することは出来ません。
- ②会場の都合上、自主ワークショップの企画の諾否を大会実行委員会で決定し、連絡させていただきます(詳しくは後述)。

4. 申し込み方法

- ①申し込み期間：**2009年5月29日**まで(必着)
- ②申し込み手続：企画者は学会ホームページから「自主ワークショップ申し込み」様式をダウンロードし、必要事項を入力してメールに添付して送付するか、同封の申し込み様式に必要事項を記入してFAXでお送りください。
★メール送付先：noukai@nifty.com
★FAX送付先：**078-925-9223** 大会実行委員会事務局長 古川直樹宛て
- ③自主ワークショップの申し込みの際は、ワークショップの題目、趣旨を詳しくご記入ください。諾否は2009年6月10日までに、ご連絡します。
- ④自主ワークショップのための原稿の送付期限は**2009年7月22日(火)必着**です。

⑤発表論文集に掲載される、話題提供者の原稿は必ずしも「発表原稿作成要領」に従わなくても結構ですが、文字のフォント、大きさ等を合わせていただくとありがたく存じます。原稿は電子メールで送信願います。メール送信が困難な場合は電子データ（フロッピーディスク、CD、USB）を郵送して下さい。（電子データは後日返却します。）

なお、メールアドレス、郵送先はいずれも上記と同じです。

⑥自主ワークショップの話題提供者等は大会参加申し込みを必ず願います。

《大会参加申込みのご案内》

1. 参加申し込み方法

後日送付いたします「大会参加登録申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送していただくこととなりますのでもう少しお待ち下さい。

2. 参加費

大会参加に伴う諸費用の詳細は以下のようになります。大会参加費の事前申し込み締め切りは、7月31日（金）です。

大会参加費 (予稿集付き)	正会員	事前	4,000円	事前参加申し込みは7月31日(月)が締め切りです。それ以降は当日の金額となります。
		当日	5,000円	
	非会員	事前	5,000円	
		当日	6,000円	
	学生	事前	2,500円	
		当日	2,500円	
懇親会費			4,000円	
弁当代 (お茶つき)			800円	初日分と2日分があります。
研修基礎講座			1,500円	
事務手数料			500円	参加費とともに忘れずに納入して下さい。

当日受付も承りますが、できるだけ事前に申し込み手続きをお済ませください。大会参加費をはじめ、諸費用はすべて振り込みで納入してください。納入方法については参加申し込み受付後に連絡いたします。なお、いったん納入された費用はお返しできません。

3. 懇親会

8月20日（木）18：00から会場のキャンパス内ポートピアホテル直営学食で懇親会を開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしています。

4. 昼食

会場周辺には飲食店がありません。また、学生食堂も閉店しておりますので、両日ともお弁当（お茶つき）を用意いたします。1食 800 円です。ご希望の方は参加申込書にその旨ご記入ください。その他、福祉施設製造パンの販売をご用意いたします。

《諸手続きの締め切り期日および連絡予定》

諸手続きの締切期日および連絡予定

2009年5月29日（金）	研究発表申し込み、自主ワークショップの申し込み
2009年6月10日（水）	自主ワークショップの諾否連絡
2009年7月22日（火）	研究発表原稿、自主ワークショップ資料の送付期限（必着）
2009年7月31日（金）	事前参加申し込み期限

《障害のある参加者への支援》

障害のある参加者の方には可能な限りのサポートを行います。参加を計画された時点で大会実行委員会事務局までご相談ください。

《宿泊の斡旋》

大会に伴う宿泊先は近畿日本ツーリスト神戸支店が担当する予定です。

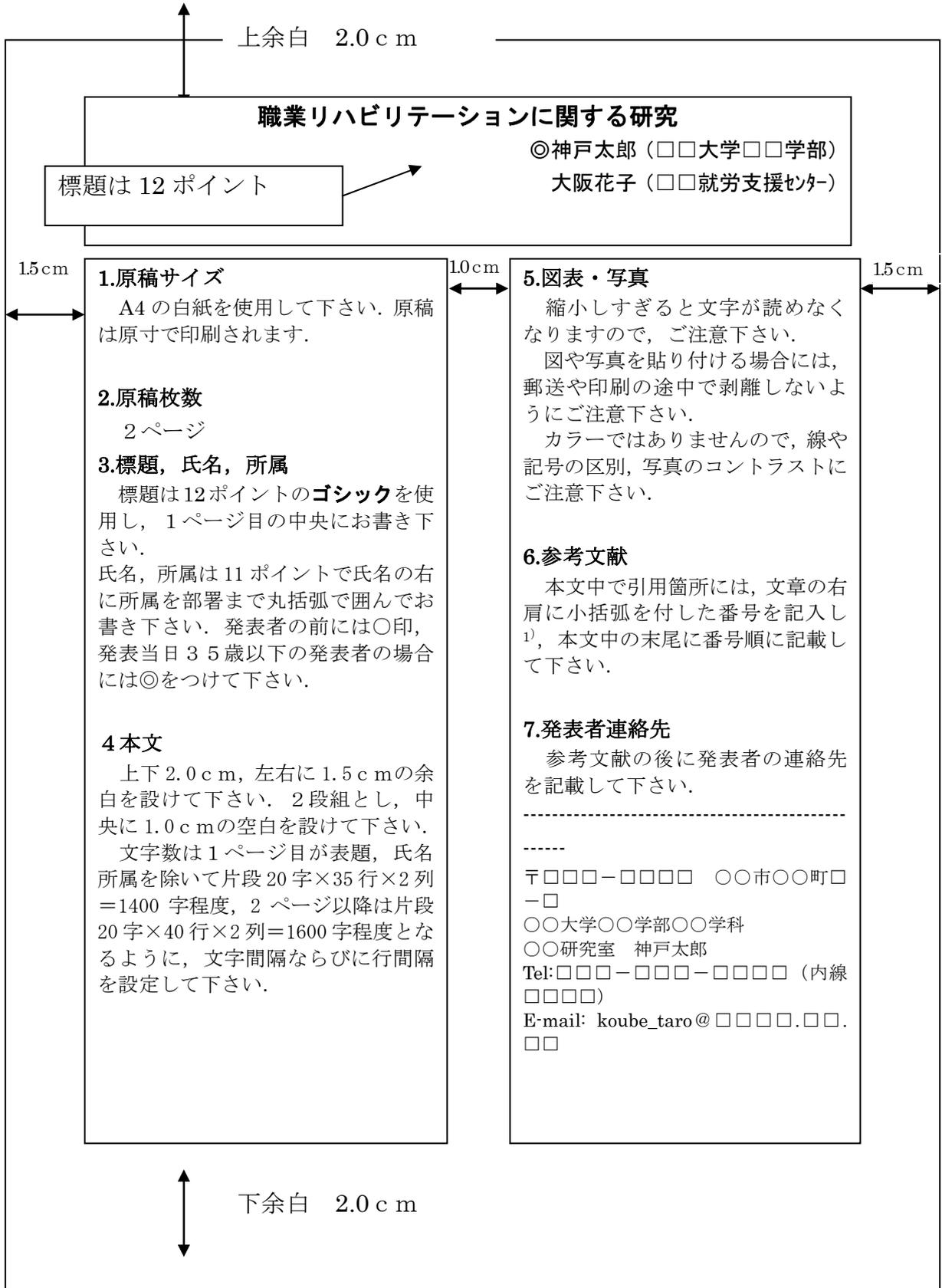
日本職業リハビリテーション学会第37回(近畿)大会
発表申込書

発表者氏名(ふりがな) (講演者には○を付す。35歳以下の講演者には◎)	所 属
()	
()	
()	
()	
()	
()	
発表分類番号 第一希望() 第二希望() 第三希望()	
キーワード(5語程度)	
論文集原稿提出方法 電子ファイル原稿 <input type="checkbox"/> WORD(Windows) <input type="checkbox"/> 一太郎	
発表方法 <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> ポスター	
使用機器 <input type="checkbox"/> PC プロジェクター <input type="checkbox"/> その他(理由)	
連絡先(各種通知は出来るだけ電子メールを使います。電子メールアドレスをお持ちの方は必ずお書き下さい)	
住所 〒	
所属	
氏名	E-mail
TEL	FAX
<p>標題・概要(約300字)</p> <p>標題、目的、方法、結果、考察、結論などを簡潔に記載して下さい。</p>	

発表申込締切: 2009年5月29日(金)必着

日本職業リハビリテーション学会第37回（近畿）大会

原稿の書き方（案）



《連絡先》

お問合せ、ご連絡等は以下にお願いします。

大会実行委員会

〒651-2181 神戸市西区曙町 1070 兵庫県立総合リハビリテーションセンター
能力開発施設内

「日本職業リハビリテーション学会第37回大会実行委員会」

電話：078-927-2727（内線 3500 古川）

FAX：078-925-9223

メール：noukai@nifty.com

《大会会場案内図》

- 神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館
神戸市中央区港島1-1-3



・公共交通機関

JR三宮駅および神戸空港より神戸新交通ポートライナー「市民病院前」駅下車西へ徒歩約6分（新神戸駅からは市営地下鉄で三宮へお越し下さい。市民病院前駅までは新神戸からは約11分、三ノ宮から約9分）

・駐車場

会場駐車場は基本的にはありませんので、公共交通機関をご利用下さい。公共交通機関を利用しづらい方は大会事務局にご相談下さい。